

小松電機産業

# 韓国で工場完成、生産へ

## シートシャッター 年間500台計画

シートシャッターの製造大手の小松電機産業（松江市、小松昭夫社長）は3日、韓国に設立した全額出資子会社の工場が完成し、今月中旬から生産を開始すると発表した。アジア市場への販売展開の拠点にする狙いだ。

の衛生管理や品質管理が求められる工場など、入り口に設置。人が出入りすること、ほこりや虫などの侵入を防ぎ、室内環境の変化を最小限にとどめる役割を担う。

韓国・始興市の新工場では生産する製品は、柱部分に鉄の代わりにアルミを使い軽量化や機動性の向上を図った。上昇速度は秒速3びと業界最速という。

韓国工場で年間500台以上の生産を目指す。部材は一部日本から持ち込むほか、韓国・中国製品も採用。日本国内の工場でも中韓から部品を輸入し、7月から同じシートシャッターを年5千台生産する。

シートシャッターは食品や薬品、精密機械など